

「心のきずなをとらえる」「私の大切なもの」発表会を開く

二年第三単元を学習し、

石川県金沢市立高尾台中学校教諭 中田 康子

本単元は、文学的な作品の読解力をつけるとともに、人と人の絆について考えるきっかけとする。

今の子どもたちは、自分の内面や人間関係について悩むわりには深く見つめようとしない。そんな子どもたちに、今の自分を成長させ、支え続けてくれていたのは誰なのか、また、どんな場なのかを考えさせ、多くの絆の中で育ててもらっているのだということを見つけて欲しいと願っている。その思いをこの単元の指導計画を工夫することで実現しようと考えた。

まず、「ゼブラ」の読解でとらえたゼブラとウィルスン先生とのかわりや、ウィルスン先生にとってのベトナム戦争の記念碑の重みを自分に置き換えて、自分にとって大切な物や場所を見つめさせる。(この部分は、代表六人のスピーチ発表会を行う。)次に、「字のないはがき」で、普段の父・手紙の中の父・末の妹が帰ってきた日の父をとらえ、筆者と父親との絆の深さを考えたうえで、自分にとって大切な人について書く。さらに、その過程で

・各自にとって、ウィルスン先生の記念碑のような存在は何か、どこかを考え、メモをする。

・教師の大切な場所を聞き、発表のしかたを学ぶ。
 ・選ばれた六人の発表を聞き、全員が感想を言う。
 第三次「字のないはがき」の父親像から、自分にとって大切な人について考える。(三時間)

・父親の多様な姿を読み取る。
 ・戦時中の生活について理解する。
 ・末の妹が帰ってきた日の日記を書く。
 ・自分にとって大切な人について書く。

第四次「私の大切なもの」発表会(四時間)
 ・先輩の短作文を読み、比喩・対句・体言止めなどの効果を学び、リズムカルで豊かな表現の要素を知る。

・第一次～第三次で考えた「自分にとって大切なもの」から一つを選んで短作文を書き、教師の添削を受ける。
 ・短作文の一覧表から好きな作品を選び、講評を書く。
 ・多くの支持を得た作品を選び、講評する者(選考委員)を決めて、発表会を開く。

・聞き手は、講評に共感した点や新しく発見した点、単元全体を通して学んだ点を発表する。
 (注)全十時間の単元であるが、二回の発表会を行う計画にしたので、全十三時間となった。

見つけた自分にとって今いちばん大切なものを短作文にして、「私の大切なもの」発表会(短作文の講評発表)を行う。また、最後の発表会は、優秀作品の発表をするが選出された人が発表するのではなく、作品を推薦した人の代表が選考委員となり、その作品から伝わる思いや作品の良さを講評することで、共感する心を育てたいと考えた。それと同時に、二回の発表会を通して、発表者の考えに共感したことや自分と比較して発見したことを、わかりやすく相手に伝える力も全員につけたいと考えた。

1 指導の流れ

第一次「ゼブラ」の主人公の心の変化を読み取り、人の成長について考える。(三時間)

・主人公の心の変化を読み取る。
 ・ゼブラが先生の手紙を受け取った日の日記を書く。(ベトナム戦争・すばらしい贈り物・フランクリン通りの三語を必ず入れる。)

第二次「私の大切な物」スピーチ発表会(三時間)

2 指導のポイント

以下、第四次のワークシートや発表会を中心に工夫したところを記す。

【短作文 生徒の作文の変化例】

身近な話題で書き進めたので、推敲がスムーズにいった。



【第三單元自己評価表】

おのおのの活動が終わったあと、自己評価させた。

心のきずなをとらえる 自己評価カード

2年 組 番 氏名

目標
 ・登場人物の変化や人間関係の変化を読み取ることができる。
 ・自分の大切な物・場所・人について考え表現できる。
 ・親友の発表/作品について共感的な感想、発見的な感想が持てる。

◆学習態度	意味調べがしっかりとできたか。 忘れ物をしないよう心がけたか。 授業中発言するよう努力できたか。 先生や友達の話をしっかり聞いたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> B B C D D <input type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
頑張ったこと・反省点	近頃よく授業中の発言が出来るようになった。 忘れ物もまた一回もしていない。	
◆ゼブラ	ゼブラの変化とその訳が読み取れたか。 うさぎの物語や動物の習性など。 ゼブラの立場に立って日記が書けたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
頑張ったこと・反省点	ゼブラの変化とその訳を書くことに、あまりいい理由が書けなかった。	
◆私の大切な物・場所 発表会	自分の大切な物・場所について話せるようになったか。 発表会で話せる機会をもち、大切にしたいものがあること。 発表会の発表への気持ちや発表を準備する楽しさを知ることができたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
頑張ったこと・反省点	発表者の発表への共感や発見を伝えるときに、思いつくまでに時間がかりすぎていました。	
◆字のなほがき	題名について考えることができたか。 父親の人物像の多面性をとらえられたか。 筆者の内面の変化をとらえられたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
頑張ったこと・反省点	見返り読みでは自分の意見をもつことができなかったが、字のなほがきの学習により整理することが出来た。	
◆短作文	今の自分について考え、大切にしたいことなどを書いたか。 短くまとめる練習し、思いを伝えることができたか。 読者の感情を揺るがす、想像をよぶ工夫することができたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
頑張ったこと・反省点	短作文を書くときに自分で体言よめを使ってくることができた。	
◆短作文発表会	自分の作品を発表して読み、読者の感情を揺るがすことができたか。 読者の感情を揺るがす、大切にしたいものがあること。 発表会の発表に向けて、共感や発見の思いを伝えることができたか。	<input type="radio"/> A B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D <input type="radio"/> A B C D
単元全体を振り返り、字んだこと、成長したこと、さらに頑張りたいことを書こう。 「心のきずなをとらえる」の勉強で、おたはは物語の登場人物や短作文の 制作者の気持ちをよく読みとることができたと思います。		
A 意欲的にできた B 真面目にできた C あまりできなかった D できなかった		

【発表会の様子】

今回の発表会の目標は次の四点を評価表に明示し、発表会後に自己評価させた。

講師の発表を熱心に聞き、そのポイントを書き取る。
 作品に込められた制作者の思いとその講評について、共感的な感想、発見的な感想が言える。



どうすればより豊かな表現になるかをつかむ。
 単元全体を通して、今の自分の成長が多くものものに
 よって支えられていることをつかむ。

作品に対する感想ではなく、選考委員の講評を聞いて共感したこと、新たに発見したことを主にした発表会であった。これは、聞く力・話す力を培ううえで、かなり

の集中力を要する課題である。選考委員の講評を二回反復させることで理解しやすくした。生徒たちは、選考委員の深い読み取りに感動し、より豊かな表現や大切なものを見つめる姿勢などを学んだよつである。

3 学習を振り返って

発表会の感想・単元全体の感想

- ・選考委員は作品をよく読み取っていて、私が発見できなかった作品の良さがわかり、理解が深まった。また自己目標の「しっかりと意見を言う」ことが達成できた。
- ・体言止めや対句法など、多くの表現技法を使うことで伝えたい部分を強調できるとわかった。また自分の体験や例を入れるとリアルな感じがし、わかりやすく身近に感じることができると思う。

- ・この単元で、自分を見つめることの大切さを知ったし、人はいろいろなものに支えられているのだとわかった。

第一次から第三次までの深まりが、第四次の短作文に対する意欲や自分を見つめる姿勢につながった。特に、対句や体言止めにするなどの教師の添削を受けて推敲して作品を完成させたので、多くの生徒が自分の作品に満足感を感じたようであった。このような自己を見つめ、自己を発見する姿勢を今後も大切に育てていきたい。